

映画「ガザ 攻撃される医師たち」と 講演会

日時：2026年11月21日（土）13：30～16：30 （映画13：30～14：30）

場所：河原町カトリック会館地下2F 大ホール

（京都市地下鉄京都市役所前下車南に3分）

講師：原口昇平（はらぐち しょうへい）さん

作品概要 「ガザ 攻撃される医師たち」

イスラエルによるガザ・ジェノサイドの重要部分、パレスチナ人医療従事者と病院への攻撃の実態に迫った2025年のテレビドキュメンタリー。現地の報道従事者が次々に殺される中、英国の制作会社がパレスチナ人ジャーナリスト2人と連携して作り上げたが、英BBCで放送を6回延期されたあげく見送りとなった問題作。後に他局から放送され、26年英国アカデミー賞テレビ時事部門最優秀賞を受賞。

講師紹介 原口昇平



詩人、翻訳者（英日・伊日）。リーディング公演「ガザ・モノログ2023」（24年2月24日立教大学）に翻訳者のひとりとして、また「現代詩手帖」24年5月号パレスチナ詩アンソロジーに共同企画者・翻訳者のひとりとして参加。訳詩のうちゼイナ・アッザーム「おなまえ かいて」が反響を呼び、26年度灘中学入試に出題。訳書にフランチェスカ・アルバーネーゼ『世界が眠っているあいだに パレスチナの物語、言葉、傷』（地平社、26年8月）。今回上映するドキュメンタリーについては、25年7月に日本語字幕を作成し、映画館や配給会社に企画書を持ち込んだものの断られ続けたため、26年5月英国アカデミー賞受賞を機に自ら上映権者と交渉して契約し、9月から自主上映を行っている。



「自分や金銭という偶像を崇拜するのはもう十分です！

力の誇示も、戦争も、もうたくさんです！

真の力は、いのちへの奉仕の家に示されるのです」

教皇レオ14世「平和のための夕の祈り」2023年4月

主催：カトリック大阪高松教会管区部落差別人権活動センター

主催：京都教区カトリック正義と平和協議会

お問合せ：☎075-223-3340（月・火・木曜日 10：00～17：00）